

「地盤工学会誌」 読者アンケート集計結果

「地盤工学会誌」4月号 (Vol.65 No.4)

特集テーマ:熊本地震

回答人数:28人/50人中 回答率 56%

① 最も興味深かった記事について

【1位】 報告:平成28年熊本地震による液状化・陥没による地盤被害

【2位】 論説:熊本地震で明確になった地盤工学の課題

【3位】 報告:河川堤防被害

② 自由意見欄

I 記事に対するご意見

1	歴史遺産に関する地盤調査事例の報告が大変興味深かったです。400年以上前に築城された地盤構造物に対して、最新の地盤調査技術がどの程度役に立つことができ、さらに観光立国を目指す日本の遺産を持続的に継承するために地盤工学がどのように貢献できるのか、今後の重要な課題であると切に感じました。
2	近年、我が国では大規模な地震を多く経験し、災害調査が効率良く行われ、また調査方法が高度化していることも相まって、同じ状況下であっても被災する箇所としない箇所があることや、面的ではなく局所的な事象が見受けられるなど、より具体的な被災状況が判明するようになってきた。この教訓を来るべき東南海・南海地震に生かすためには、最新の技術的知見や評価手法・対策方法などの情報が、末端の技術者まで速やかに共有される体制が必要であると考えます。
3	講義の産業副産物・災害廃棄物の地盤工学的利用の記事が非常に興味深いものでした。連載が楽しみです。
4	「地盤の地域特性を考慮した耐震設計は容易でなく、地盤特性の課題は各地域の地盤工学の課題である」というメッセージが印象的であった。これまでに起こった地震から得られた知見と課題を各地域の地盤条件に当てはめ、対策を検討することが重要だと痛感した。
5	内容が難しいところも正直あるが、地震被害について、様々な角度から見ていることが非常に勉強になるかと思えます。
6	熊本地震に関しては、当初、本震とされたものが、余震と修正されたことが、被害の拡大を招いたと考える。
7	熊本地震は東日本大震災とは異なる視点で見る必要があると思う。発生メカニズムや地震規模は濃尾地震に匹敵すると個人的には思っています。熊本地震を一過性のものと考えず、これからも注意深く見守る必要があると思えます。
8	口絵写真は白黒でもよいので文章内にあったほうが読みやすい。

9	今回の記事は熊本地震に関する特集であり、阪神淡路大震災を経験している関西支部からも非常に有益な内容であり、興味を持って読むことができたとの声をいただいている。
10	熊本地震に関する今回の記事は全て興味深く読みました。
11	熊本地震の報告を非常に興味深く拝見しました。また、口絵写真も迫力があり、地震災害をより明確にイメージすることができました。
12	斜面災害の現地調査、地震断層関係はよくまとめられています。

II 今後取り上げてほしい記事

1	大地震による「地盤リスク」の問題を取り上げていただきたい。戸建てとマンション、高層ビル、構築物などについて、地盤と長周期などの問題を解説してほしい。
2	地面に近い表層の地盤が地震の揺れや建物の被害を大きく変える「地盤リスク」。
3	杭など基礎に関する記事。
4	これまでも本誌で取り上げられているが、熊本地震や博多駅陥没のようにニュースで取り上げられるような事例を地盤工学的知見から見ることのできるような記事。
5	大深度地下開発について
6	土木構造物建設における事故事例(地盤状況に関する)
7	最新の ICT 技術を活用した土工事施工事例
8	繰り返し三軸試験結果の評価(考察)方法のポイント